

神戸町地域防災計画 用語解説

あ行	
安定ヨウ素剤	原子力施設等の事故に備えて、服用のために調合した放射性ではないヨウ素をヨウ化カリウムの形で製剤化したもの。放射性ヨウ素の甲状腺への集積を防ぎ、内部被ばくによる甲状腺がんや甲状腺機能低下症の発症リスクを低減させる効果がある。
液状化現象	地震の揺れによって地盤が液体のような挙動をとる現象。液状化現象が発生すると、その上に建つ建築物が沈んだり、倒れたりする。一方で、地下埋設物（マンホールや共同溝等）は浮き上がり、地表に飛び出すことがある。
応急危険度判定	大規模地震発生後の2次災害を防止するために、応急危険度判定士が行う建築物の安全度の評価。
か行	
海溝型地震	「海洋型地震」とも呼ばれ、海溝付近のプレート境界やプレート内部で発生する地震の総称。海側のプレートと大陸側のプレートとが接する海溝で、大陸側のプレートの下に潜り込もうとする海側のプレートに引きずられて、たわんだ大陸側のプレートが跳ね返って発生する。
外部被ばく	体外被ばくとも呼ばれ、放射線を体の外から受けること。
活断層	地質学的に極めて近き時代（新生代第4紀）まで地殻運動を繰り返してきた断層で、今後も活動する可能性のある断層。
冠水	洪水や津波等で、田畑や作物等が水をかぶること。これに対して、洪水や津波等で水が入ってきたり、モノが水に浸ったりすることを「浸水」という。
緊急地震速報	地震の発生直後に、震源に近い地震計で捉えた観測データを解析して、震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づき各地の主要動の到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる地震動の予報・警報のこと。
警戒宣言	大規模地震対策特別措置法に基づき、内閣総理大臣が発令する、地震防災対策強化地域に関わる地震が発生する恐れがあると警告する宣言。現在、「東海地震」が対象であり、内閣総理大臣は、地震予知情報を受けた後、直ちに閣議に諮り宣言する。
減災	自然災害の発生そのものは事前に防ぐことができないため、いざ災害が発生した場合に、被害を最小限に食い止めるための取り組み。

さ行	
災害救助法	災害時に被災者保護と社会秩序の保全を目的とした法律。第一章の第一条において「この法律は、災害に際して、国が地方公共団体、日本赤十字社その他の団体および国民の協力の下に、応急的に、必要な救助を行い、災害にかかった者の保護と社会の秩序の保全を図ることを目的とする」とされている。
災害時要援護者	災害時に必要な情報を迅速かつ的確に把握し、避難する等の行動を取るのに支援を要する人。(高齢者、障がい者、乳幼児、外国人等)
自主防災組織	地域の人々が自発的に防災活動を行う組織。自分たちの地域は自分たちで守る(共助)という自覚・連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う。
指定避難所	大規模災害によって避難生活を余儀なくされた場合に、一定期間避難生活を行う施設。
自助・共助・公助	自助は、個人や家庭で日頃から災害に備えたり、災害時の自主的な避難等により自分の身を自分で守ることであり、共助とは、地域住民が互いに助け合うことをいう。公助とは、市役所や消防・警察による救助活動や支援物資の提供等、公的支援をいう。
遮へい	人体への放射線からの外部被ばくを防止するために、放射性物質または放射線を発生する機器と人体との間に物体を設け、放射線の量を少なくすること。
水防団	水防法に基づき、水防管理団体が水防活動を行うために設置する組織。また、水防管理団体とは、水防の責任を有する市町村、水防事務組合、水害予防組合等をいう。
スクリーニング	放射性物質に汚染している者としていない者を区分すること。
全国瞬時警報システム (J-ALERT)	大規模災害や武力攻撃事態が発生した際に、国民の保護のために必要な情報を通信衛星を利用して、瞬時に地方公共団体に伝達すると共に、地域衛星通信ネットワークに接続された同報系市町村防災行政無線や有線放送電話を自動起動させ、サイレンや放送によって住民へ緊急情報を伝達するシステム。
た行	
直下型地震	内陸型地震とも呼ばれ、内陸部にある活断層や岩盤等で発生する震源の比較的浅い地震。地表面近くの岩盤が破壊されることによる地震と、陸のプレートと海のプレートが接し、せめぎあう境界付近で岩盤が破壊されて起こる地震がある。
トリアージ	災害時発生時等に多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために傷病者の治療優先順位を決定すること。

な行	
内部被ばく	体内被ばくとも呼ばれ、放射性物質が身体の内部に入り込み、体内から被ばくする（放射性物質から出る放射線を受ける）こと。原発事故等で放出された放射性物質を空気と共に吸い込んだり、放射性物質に汚染された水や食物等を飲食したり、また放射性物質を傷口から体内に吸収したりする場合がある。
南海トラフ巨大地震	静岡県駿河湾から九州東方沖まで続く深さ4000m級の海底の溝（トラフ）沿いの広い震源域で連動して起こると警戒されているマグニチュード9クラスの巨大地震。
2次災害	最初に起こった災害によって、火災や建物の崩壊等、さらに別の災害が起きること。最初の被害よりも被害が大きくなることもある。
は行	
ハザードマップ	火山噴火や洪水、土砂災害、津波等の自然災害に対して、被害が予測される区域および避難地・避難路等が記載されている地図。
避難勧告	災害が発生し、または発生する恐れがある場合に、避難のための立ち退きを促す勧告。災害対策基本法に基づき、対象となる地域の住民に対して区市町村長から発せられる。
避難指示	災害による被害の危険性が切迫した場合に、避難のための立ち退き指示。対象となる地域の住民に対して区市町村長から発せられる。避難準備情報、避難勧告、避難指示の中で最も拘束力がある。
避難準備情報	災害時に事態の推移によっては、避難勧告や避難指示を出すことが予想されるため、避難のための準備を事前に呼び掛けるもの。法令による根拠はなく、地方自治体の地域防災計画で定めるもので、対象となる地域の住民に対して区市町村長から発せられる。
避難場所	大規模な災害発生時に一時的に避難する場所。
福祉避難所	災害時に介護の必要な高齢者や障がい者を一時的に受け入れて保護する施設。国がガイドラインで自治体に指定を促しており、一般にバリアフリー化され、専門スタッフを配置した介護施設や学校等を自治体が予め指定する。
防災	災害を未然に防ぎ、被害を出さないための取り組み。しかし、自然災害の発生そのものは事前に防ぐことができないため、今日では、被害を最小限にするための取り組み（減災）が重要視されている。
ま行	
マグニチュード	地震の規模の大小を定量的に表した数値。震度は地震による地面の揺れ（地震動）の強さを表す。

